



## ベルリン日本語補習授業校

Japanische Ergänzungsschule Berlin  
e. V.

### 所在地

Japanische Ergänzungsschule in Berlin e.V.  
c/o Halensee-Grundschule  
Joachim-Friedrich-Str. 35/36  
10711 Berlin

### 事務局

日本式1階 13号室  
Tel./Fax 030-891 1787  
(水) (金) 16:00~18:45  
(木) 15:30~18:15  
jimusho@berlin-hoshuko.de  
www.berlin-hoshuko.de

### 補習校事務室への案内

当校が借用しているハーレンゼー小学校正面入口 (Joachim-Friedrichstr. 35/36) を入り、学校中庭に出て、建物に沿って右へ行くと、角にガラス扉がありますので、こちらから校舎に入って下さい。階段を数段上がり、左の廊下に入って 一つ目の部屋が、補習校の事務室です。

### 交通機関

地下鉄 U-7 Adenauerplatz 駅より、徒歩 10 分

又はバス M19・M29 番で 2 つ目の停留所

(Kurfürstendamm/Joachim-Friedrich-Str.) 下車、徒歩 3 分

S-Bahn Halensee 駅より徒歩 7 分

又は上記のバスで 1 つ目の停留所下車、徒歩 3 分

S-Bahn Charlottenburg 駅より徒歩 15 分



2015 年度

## ベルリン日本語補習授業校

新学年度は 4 月 15 日から始まります  
www.berlin-hoshuko.de

幼稚部では、

0 歳からの日本語教育を

行っています

## 幼稚部学校案内

Japanische Ergänzungsschule Berlin e.V.

# きめ細やかな保育・指導の実現

42年の伝統を誇るベルリン日本語補習授業校の幼稚部では、0歳児から5歳児までの年齢別クラスを設けています。各クラスとも、保育指導の経験を持つ教員が、それぞれの発達段階にあわせ、充実したきめ細やかな保育・指導をいたします。

幼稚部では、子どもの「聞きたい」「話したい」「読みたい」「書きたい」という、身近な日本語への興味や関心を最大限に引き出し、楽しみながら自然に身につけることを大きな目標としています。これが、小学部以降の学習につながる基礎となります。同時に、季節の様々な年中行事や、わらべうた・昔話などの児童文化を通して、日本の文化、伝統の良さ美しさを体験的に感じ取れるような活動も大切にいたします。

幼稚部では、0歳から高校生に至る、本校の日本語一貫教育の基礎が培われます。

\*人数により、クラスがほかの曜日に増設される場合があります。

## 授業日・授業時間・月額会費

授業料は会費の形で下記の通りお納めいただきます。

よちよち	15:45~16:30 (水) (木)	15 ユーロ
こぐま	15:30~16:30 (水) (木)	27 ユーロ
年少	16:45~18:15 (水) (木)	38 ユーロ
年中	16:45~18:15 (水) (木)	38 ユーロ
年長	15:30~18:15 (木)	68 ユーロ

\*入学はいつでも可能ですので、事務局にお問い合わせください。

本校は Japanese Ergänzungs-schule in Berlin e.V. という公益法人の形をとって運営されています。お子さんが本校に入学された場合、同時に保護者の方は「公益法人の正会員」になっていただけます。なお、よちよちの場合は、「公益法人の準会員」となることもできます。授業料は、会費という形でお支払いいただけます。

入会金：一世帯あたり	正会員	50 ユーロ
	準会員	25 ユーロ

(但し準会員が正会員へ変更となる時に残り 25 ユーロをお支払いください)

## よちよち (0・1歳児)

親子で参加しながら、家族以外の人たちに少しずつ慣れていきます。歌や手遊びなどを通して、日本語をより身近に感じ、いろいろな人が話す日本語に触れることで、少しずつ日本語の世界が広がっていきます。

## こぐま (2歳児)

簡単なあいさつや返事ができるようになる時期です。歌や読み聞かせ、まねっこ遊びなどで、先生との言葉のやり取りを楽しみます。身近なものの名前や動きをあらゆる言葉を覚えたいことやしてほしいことを伝えるようになります。

## 年少 (3歳児)

語彙がぐんと増える時期です。歌やお話の読み聞かせでは、言葉を増やすと同時に、内容を楽しむことができるようになります。また、大人とのやり取りだった遊びが、友達とのやり取りに代わっていきます。自分の思い、見たこと、したことを少しずつ話せるようになります。手先も器用になる時期ですので、季節や行事を取り入れた、簡単な工作や折り紙を楽しむこともできます。

## 年中 (4歳児)

読み聞かせなどによってイメージを広げながら言葉を豊かにし、思いや経験を言葉で伝える楽しさを味わいます。しりとりや、かるたなどの言葉遊びを通じて語彙を増やしながら文字にも親しんでいきます。また、自分で工夫することができるようになるため、ごっこ遊びや劇、工作などの幅が広がります。鉛筆を持っていろいろな線を描く遊びを通して、「書く」ことへの関心もより高まります。

## 年長 (5歳児)

幼稚部過程の最終段階として、学習に取り組む姿勢が身につく時期です。人の話を注意して聞き、相手にわかるように説明することができるようになります。文字・言葉遊びや、劇、工作など、表現活動がより活発になります。ひらがなを覚えて書く学習が始まり、自分の経験などを短い文で書けるようになります。幼稚部での文字学習の積み重ねを経て、1年生での学習への待と興味・関心を大きく膨らませ、小学部以降の学習へとつながっていきます。